

授業科目名	スポーツ・コーチング学特殊研究	授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高橋 仁大			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	国内外の雑誌に掲載されているコーチングに関する文献を概観し、コーチングのトレンドを理解する。また、文献講読を通じてコーチングの汎用的原理・原則や種目特性に基づいたコーチングの原理・原則を理解し、実践現場での応用可能性についてディスカッションする。コーチング理論は、実践現場での試行錯誤から産み出されるものであることから、実践現場での事例を基にした実践的なコーチング手法についてもディスカッションを行い、自身のコーチング理論を構築することを目指す。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(%) 授業への取り組み状況(50%) レポート等の提出状況(50%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	毎回講義の話題に対するディスカッションを行い、その良否を得点化する。また、各自のプレゼンテーションのできれば(論理性・話題性・図表の利用能力・聞きやすさ・質疑応答能力)を得点化する。				
テキスト、教材 参 考 書	資料等は適時配布する。				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)	競技経験のある者またはコーチングの現場に立った経験のある者で、かつ修士レベルまでに科学的な思考を身につけている者の受講を希望する。		
オフィス・アワー	随時 809教員研究室				

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	高橋 仁大	スポーツ・コーチング実践の歴史および現状とスポーツ科学の役割 ～ bridge the gap の理解 ～	
2	"	諸科学分野の学領域および方法論の理解とスポーツ・コーチング研究	
3	"	スポーツ科学の理論体系とスポーツ・コーチング研究の位置づけ	
4	"	プレゼンテーション - 1 -	
5	"	実践的な問題解決のための思考法に関する理論・方法論	
6	"	スポーツ・コーチング研究の現状	
7	"	スポーツ・コーチング研究の方法とその可能性	
8	"	スポーツ・コーチング研究成果の有用性と価値	
9	"	スポーツ・コーチング研究論文の書き方	
10	"	スポーツ・コーチング研究成果の発表および取り扱い方	
11	"	プレゼンテーション - 2 -	
12	"	スポーツ・コーチング研究のプロポーザルの作成例 1	
13	"	スポーツ・コーチング研究のプロポーザルの作成例 2	
14	"	スポーツ・コーチング研究のプロポーザルの作成例 3	
15	"	プレゼンテーション - 3 -	